

西光寺だより

第八十四号 平成二九年 八月一日発行

暑さ厳しい八月となりました。ここ数年の夏は三十度を超える日が珍しくないほどに暑い日が続くようになり、むせ返るような暑さには身体もついていけなくなりそうです。それでも、植物はたくましく繁り、蟬の声は鳴り響き、ふと地面を見ると無数の蟻たちが忙しく駆け回っています。家の周りでは、雑草が其処ここにはびこり、害虫も頻繁に顔を見せてくれます。

私たち人間にとつては不都合なことも多いのですが、猛暑の中で本当にたくましく生きていく様を見せつけられます。

河原の草たちは、ぐんぐんと濃い緑の葉を伸ばし、刈られても刈られても負けません。野菜は赤や緑の濃い色をつけ、はち切れんばかりの見事な大きさに成長します。虫や魚たちは一回り身体を大きくし、春とは違った活潑な動きを見せてくれます。

照りつける太陽の下、自然界は圧倒されるほどの「生きる」エネルギーを燃やしているようにさえ感じます。そこには、これでもかと言わんばかりの「生」への執着を感じるのです。

さて、自然界の一部でもあるわたしたち人間はどうでしょうか。「ただひたすらに生きること」に満足出来る人間がどれほどいるでしょうか。人間には欲があります。欲により尊い命ですら失ってしまうこともある愚かな存在であります。そのことをしっかりと知っておくことです。

そして、もう一つ忘れてならないことは、私たちには仏の智慧（正しく物事を認識し判断する力）があるということです。智慧により人間は「穏やかに生きる」ことが出来る存在でもあります。智慧をもって夏の生物を感じてみて下さい。ありのままの「生」のエネルギーを感じてみて下さい。そしてその力強いエネルギーが自分の中にあるということも。智慧をもって見ること、自然界の生物たちはきつと「生きる」尊さを改めて教えてくれることでしょう。

合掌

◆八・九月の行事◆

八月 十五日 日（火）

孟蘭盆会法要

午後六時～

西光寺本堂

九月～ 在家報恩講

※毎月のお逮夜日を報恩講のお飾りでお待ち下さい。

九月 十四 日（木）

大谷本廟墓参（みのり講・穂積講の方）

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。行かれない方は千円を西光寺又は出席される方におこつげ頂きますようお願い致します。年に一度の皆さままでの大谷本廟墓参、お参り致しますよう。

九月 二十二日（金）

仏教婦人会報恩講

午後一時

西光寺本堂

九月 三〇 日（土）

秋季永代経法要

午後二時・午後七時

西光寺本堂

◎御法話 布教使 北島 晃融 師